

## 八尾モール株式会社経営状況報告

八尾モール株式会社の経営状況につきまして、ご報告申し上げます。

八尾モール株式会社は、近鉄大阪線高架下及び旧駅跡地の店舗並びに関連用地の建設、管理、運営及び賃貸借並びに経営に関する業務を行うことを目的に、昭和49年8月12日に設立し、現在、高架下店舗65店舗の賃貸事業を主として行い、近鉄大阪線八尾駅高架下の周辺地域における商業集積の活性化に努めているところです。

空き店舗数について、第43期では、入店が1店舗、退店が1店舗あり、昨年度末から増減がなく、7店舗となりました。今後も厳しい状況が続く見込みでございますが、引き続き空き店舗の減少に努め、業績の向上に努めてまいります。

まず初めに、平成29年10月1日を始期とする第44期の予算および事業計画につきまして、別冊予算及び事業計画書に基づき、ご報告申し上げます。

2ページの予算計画について、ご説明申し上げます。

売上高は、賃料収益の増加等により2億6,800万円、販売費及び一般管理費は、共同管理費の減少等により、2億4,300万円、営業利益は2,500万円を計画しております。また、営業外収益70万円を含めた当期経常利益は2,570万円を計画しております。

続きまして、第43期の決算につきまして、別冊決算報告書に基づき、ご報告申し上げます。

5ページの貸借対照表について、ご説明申し上げます。

資産の部につきましては、流動資産4億9,097万5,679円、固定資産3億2,102万9,436円となり、資産合計は8億1,200万5,115円でございます。

負債の部につきましては、流動負債6,649万5,696円、固定負債2億5,417万493円となり、負債合計は3億2,066万6,189円でございます。

純資産の部につきましては、資本金1,000万円、利益剰余金4億8,133万8,926円で、純資産合計4億9,133万8,926円となり、負債、純資産の合計は、8億1,200万5,115円でございます。

次に、6ページから7ページまでの損益計算書につきましては、売上高は、固定賃料収益、共益費分担収益の増加等により、2億6,892万4,603円、販売費及び一般管理費は、給料手当、福利厚生費の減少等により2億3,606万6,565円となりました。この結果、営業利益は3,285万8,038円となり、営業外収益1,644万6,508円を加えた経常利益は、4,930万4,546円となりました。当期純利益といたしましては、法人税、住民税及び事業税を差し引いた結果、3,911万1,658円を計上いたしました。

なお、8ページの株主資本等変動計算書に記載のとおり、前期繰越利益を加えた繰越利益剰余金は、2億7,883万8,926円となっております。

以上、八尾モール株式会社の経営状況報告といたします。